# 一般質問 Q&A

# 市のゆくえは

## ― 12月定例会、19名の議員が質問 ―

### 三上小学校前交差点に右折信号機を

藤村洋二

**問** 先日、県道野洲・甲西線の三上地先でダンプカーによる死亡事故があり、残念でならない。

この事故の犠牲になられた女性に報いるためにも、野洲市としての一日も早い渋滞解消策と安全確保を要望し、野洲市の考え方と取組みについて問う。

①今回の事故に対する市としての考え方

②県要望への取組みを時系列で具体的に（昨年4月より現在まで）

③三上小学校交差点信号機設置と改良工事の進捗状況

④通学路の安全対策（歩道の整備）

⑤国道8号バイパス完成までの対策について（小山川、大山川右岸堤防のバイパス化など）

### 右折信号、年度内に設置する

都市建設部長

**答** ①事故は野洲・甲西線の渋滞が一因であると真摯に受け止め渋滞解消に努める。

②昨年4回、本年4回県、湖南振興局に要望活動を行った。

③本年3月に地元承諾のもと守山警察署に三上小学校前交差点の右折信号機要望、今年度内に信号機の改良予定となっている。交差点改良（右折だまりの設置）は公安委員会の指導もあり実施できるよう県と協議する。

④通学路の安全対策、歩道の設置は県へ強く要望する。

⑤国道8号バイパス完成までは、提案の小山川、大山川堤防利用などを含め検討する。

改良待たれる三上小学校交差点

**その他の質問**

○「市民が主役の環境行政」に

○エコドームの建設を要望

## 篠原駅前住宅道路の県道48号、2号線の安全対策は

矢野隆行

**問** 県道48号線の篠原駅前団地前危険通学路の歩道整備なぜされていないのか。

県道2号線、ドラックストア前付近信号機設置について、死亡事故が多発しているのにもかかわらずなぜ取り付けができないのか。

### 平成20年4月までに整備

都市建設部長

**答** 県道48号線の小篠原団地前県道は、平成20年4月開校予定の県立養護学校整備に合わせ、県により篠原駅から光善寺川まで約650メートルを整備される予定。

その先の小南交差点までの区間についても、今後県に対して強く要望していく。

信号機は、県下で600件近く要請があり、今期中の設置計画はない。今後強く県に要請していく。

光善寺川橋の通学路

## 車椅子の人に配慮を

**問** 車椅子を使用されておられる障害者・高齢者の方が、市内を自由に安心して移動するためには、トイレ設備がどの程度設置されているのか。また、その場所のトイレマップは発行されているのか。

市内のコンビニ等の小型店舗には、障害者用トイレが設置されていないのはなぜか。

### 障害者用トイレの周知をしていく

市民健康福祉部長

**答** 観光トイレマップは、滋賀県で発行しているので市役所の窓口で対応している。

コンビニは、建築基準法で百㎡以下の建物に設置義務がない。

### その他の質問

**問** 障害者自立法案にて、どこまで周知されているのか。今後どのように進めるのか。

**答** 認定審査会の設置等準備を進めている。

**問** 永原団地四棟の耐震性水漏れについてどうか。

**答** 耐震検査を行い問題ない。水漏れについてはそのつど対応していく。

## ハートプラスマークの活用で内部障害者への支援を

梶山幾世

**問** 2001年8月の国の調査によると、身体障害者324万5千人のうち、内臓機能の障害によって身体障害者手帳の交付を受けている内部障害者は84万9千人、4人に1人を占めている。

目に見えない障害のため社会的認知が低く、電車等の優先席に座ると冷たい目で見られたり、職場で体調を崩し退職に至るケースがある。打開策として、ハートプラスマーク作成による支援活動の普及がスタート。

本市においても障害者が安心できるよう窓口への設置、啓発、配慮マニュアルの活用が必要と考えるが、見解を伺う。

### 窓口への設置・啓発に努める

市民健康福祉部長

**答** ①ハート・プラスのマークは、平成15年11月に内部障害者に思いやりの心をもって接してほしいとの願いから生まれた活動である。今後、広報やホームページ等を活用し啓発に努め、窓口にも設置する。

②配慮マニュアルの活用は研修等を実施し、相談しやすい環境づくりに努める。

内部障害者に理解を深める

ハート・プラス

http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/

Copyright (C) 2004 heart plus mark project. All rights reserved.

ハートプラスマーク

### その他の質問

**問** 子どもの読書活動推進計画の策定を。

**答** 旧中主町の推進計画を基本に検討改訂し、市の推進計画策定を進める。

**問** 登下校の安全確保と市外近隣校通学の配慮を。

**答** 通学区域を基本に保護者との相談に応じる。